

審議会等の会議結果報告

| | |
|------------|--|
| 1. 会議名 | 第6回情報のかけ橋委員会 |
| 2. 開催日時 | 平成30年3月19日(月) 午後1時30分～3時30分 |
| 3. 開催場所 | 5階特別会議室 |
| 4. 出席者氏名 | (委員) [敬称略] <small>副市長</small> 永作友寛 山守一徳 中北直子 伊藤あや 川口正人 (事務局) <small>課長</small> 浅井嘉人 <small>主幹</small> 岡田 久 勝田茂樹 |
| 5. 公開及び非公開 | 公開 |
| 6. 傍聴者数 | 0人 |
| 7. 担当 | 松阪市 秘書広報課 広報広聴係 勝田 電話 0598-53-4312 FAX 0598-22-1119 メール kouhou@city.matsusaka.mie.jp |

第6回情報のかけ橋委員会 議事録

【委員会 式次第】

1. あいさつ
2. 行政チャンネルの運用について
3. SNSの運用について
4. 松阪市広報物作成に係る基本方針について
5. 来年度の情報のかけ橋委員会のスケジュールについて
6. 次回会議日程について

1. あいさつ

委員長 年度末の忙しい中お集まりをいただきありがとうございます。今月、陸前高田市に行ってきました。初めて伺いましたが、現場へ行ったことで津波の脅威など様々、気づいた点もありました。一方で、復興スピードを肌を感じることもできて、日本の底力のようなものも感じました。災害時には行政chやSNSなどでいち早く情報発信をしていくということの重要性を改めて認識しました。本日の会議もよろしく申し上げます。

2. 行政チャンネルの運用について

事務局 前回の振り返り部分もありますが、まずは新スタジオセットと河川監視カメラの状況について報告します。スタジオ背景デザインについては前回の委員会の際にいただいた意見を参考にデザインや色の濃淡の修正も入れて、完成に至りました。3月26日には印刷さ

れたものが納品される予定で、4月からの放送では新しいデザインセットを使っています。またそれに先駆けて、3月28日には松阪工業高校の生徒に市長表敬訪問をしていただきお披露目会も開きます。これについてはプレスリリースも行い、新聞等のメディアにも取材されることが期待でき、認知度を多少なりとも高められると思います。また、今後松阪高校に声をかけて、高校生アナウンサーという企画も検討しています。

続いて、河川監視カメラについての報告です。前回の情報のかけ橋委員会の中でも河川監視カメラの放送の必要性について意見をいただいたことから、河川監視をしている三重河川国道事務所に、2月14日、話を聞きに行きました。また、現状の松阪ケーブルテレビが放送している河川監視カメラの状況を確認するために、松阪ケーブルテレビについても3月中に話を伺いに行く予定ですので、次の会議ではより細かい内容を報告できるものと思います。また、防災対策課との協議が必要ですし、それぞれにメリット・デメリットがあることが想定できるので、少しお時間をいただきたく思います。

委員 河川監視カメラを行政c hで放送する方法については、三重河川国道事務所か松阪ケーブルテレビから映像提供を受けるかのどちらかということでしょうか？

事務局 現状の選択肢はそのどちらかかと思っています。松阪ケーブルテレビについては既に回線を引いているので、河川国道事務所には、この映像を松阪ケーブルテレビから提供してもらうことは可能かという確認をしましたが、これは可能ということでした。例えば松阪ケーブルテレビから提供を受けることの方が安価であったり機能的にやりやすいものであったりしたら、検討の余地が出てきます。

委員 それぞれの費用については？

事務局 河川国道事務所についてはインターネット回線の回線利用料をインターネットプロバイダーに支払うのみで、数千円であることが想定できます。松阪ケーブルテレビはこれから打ち合わせとなるので現状では未定です。

委員 ケーブルテレビからもらう場合、タイムラグは生じますか？

事務局 想定するシステムの構成上、ほぼ生じないと思います。

委員 松阪ケーブルテレビから再送信でデータをもらった場合はフォーマットを変更することはできないのでしょうか？

事務局 システム上でできないと聞いています。

事務局 続いて番組放送スケジュールについてです。市民アンケート等でもなかなか見られていないという現状があり、昨年より月に1度広報広聴係の全員で集まって会議を重ね、情報のかけ橋委員会の委員の皆さんの意見も取り入れながら、この4月以降の放送スケジュールについて検討しましたので報告します。まず、アイウエブ松阪の放送時間はこれまで0分から最大30分としていましたが、今後は20分の固定時間とします。これは20分から新たに放送する松阪市内の1歳児を紹介するHappyBirthdayを決まった時間から放送するためと、文字放送の時間を削減するためです。また、さきほどは最大30分と伝えましたが、実質的には15分程度で推移していました。これを毎回20分に納める為に、例えば政府広報室が制作している15秒～2分程度のCM動画を入れて詐欺撲滅や防災を啓発したりしていきたいと考えています。更に特集番組も尺が固定されていなかったのも、これも20分で固定することで、文字情報の放送時間を削減します。これも特集番組が20分に足りない場合は、政府広報室の番組や市民からの投稿ビデオの受付、松阪高校制作の30秒CMなどを放送して調整します。外部番組といっても国が制作しているということで信頼性もありますし、見てみると高いクオリティだったり、世間に知られている芸能人を採用していたりと、行政チャンネルを見たいと感じた方の期待を、少なくとも裏切るものではないと感じました。また街並みを紹介するコーナーというのも検討しています。撮影や編集にはさほど手間がかからないことと、地域の映像を高解像度の映像で保管することが目的です。これには特殊なカメラを使って、ブレやユレが目立たない映像をお届けすることができます。

委員 街並み紹介映像についてはこれを取りまとめて松阪市PRビデオができそうですね。

委員 いつも見ている街並みでも、カメラを通してみると違って見えるのでおもしろいかもしれません。

委員 HappyBirthday で流せる赤ちゃんの数はどれくらいですか？

事務局 今の想定では5分間で30人、一人10秒程度と考えています。応

募がもっと増えた際にはまた5分間以上も考えたいと思っています。

委員 1時間サイクルが一日にどれだけ放送しますか？

事務局 1日に18回放送します。夜間は文字放送のみとなります。

3. SNSの運用について

事務局 現在はFACEBOOKとTwitterとYoutubeを松阪市は運用しています。また、竹上市長については2月1日からインスタグラムを開始しています。時流や市長が始めたということもあって、松阪市も公式でインスタグラムを開始しようと考えています。合わせてipod touchや一眼レフカメラを新たに購入し、他部署でも気軽に書き込みをしてもらえるような環境を整えたいと考えています。松阪市のインスタグラムについてどのような運営が良いかの意見を聞かせてもらえたらと思います。

委員 志摩市はインスタグラムをがんばってて、キャンペーンなどもしています。市役所職員の中でも若手がやっていると聞きました。撮り方も含めて、がんばっているようです。

委員 写真を撮影するセンスや技量が必要そうですね。何を撮る、どのような見せ方をするという前に、写真の撮り方や加工の方法も勉強した方がいいですね。

委員 課を超えて様々な職員さんが関わると情報も多様になると思います。

4. 松阪市広報物作成に係る基本方針について

委員 広報物、チラシやポスターなどにおいて制作基本方針を平成30年度に決めたいと考えています。松阪市にどういう広報媒体があって、一つ一つの特性を職員が理解することがその目的の一つです。また、違う目線で見たとときに「見て分かりやすい広報」を目指し、ユニバーサルフォントや色使いなどはもちろんのこと、松阪らしさが伝わる広報物としたいという考えがあります。つまり、この柄・絵が入っていたら松阪市の広報物、ということが一目でわかるようなデザインということです。その1つを松阪木綿、木綿柄として考えてい

ます。まずは書面で仮にまとめたものがありますので、一度ご確認をいただいて、委員の皆さんの意見をいただきたく思います。

委 員 松阪市が発信するものが対象ということでよろしいですか？

事 務 局 そのとおりです。

委 員 色弱者への配慮という表現よりも、色の見やすさ、色彩、色調などの表現に変えて、全ての人に該当するような言い方にしてみてもいいかがでしょうか。

委 員 紙質についても書かれていますがこの意図は何でしょうか？

事 務 局 ある程度、紙の厚さを統一することで一定のクオリティを保つ意図であったり、高級になりすぎないようにこのようにしています。

委 員 品質を必要以上に高めることのないような配慮は必要かもしれませんが、実際的な価格だったり、裏表印刷をするときの裏写りだったり、その時の状況に応じて求められる紙質が変わってくることも事実なので、そのあたりは考慮されてはいかがでしょうか？

事 務 局 ありがとうございます。

委 員 松阪木綿の柄を秘書広報課で指定するという表記がありますが、このあたりはもう少し自由度があった方がいいかもしれません。例えば「松阪木綿をイメージさせるもの」などという表現方法もあるかなとは思っています。

委 員 長 松阪木綿の柄を限定してしまうのは、確かにデザインの自由度も含めてリスクがあるかもしれません。この基本方針は入札の際の共有仕様書のような形で入っていくものだと分かりやすいかもしれません。そうすると統一感が生まれるように思います。

委 員 とりあえず最初の一稿の基本方針においてはもう少し緩やかな方がいいかもしれません。慣例等もあるでしょうから、不都合が生まれるかもしれません。

委 員 別表に Youtube、ラジオも追加いただいた方がいいと思います。

事務局 皆様ご意見ありがとうございます。この意見も参考に、もう一度皆さんに確認いただきたいと思っていますので、よろしく願い致します。

5. 来年度の情報のかけ橋委員会のスケジュールについて

事務局 来年度のスケジュールについて紹介します。ホームページについては5か年の継続計画のため来年度は通常運用です。広報まつさかのデザインについては夏頃に今のデザインのままで良いかを皆さんに確認したいと考えています。また新たなSNSとしてLINE@、Instagramなども追加し、それについての意見もいただければと思います。なお、委員の任期については2年間となっておりますので、来年度も引き続き皆様のご参加をよろしく願いします。

6. 次回会議日程について

事務局 次回の会議日程については、皆さんの意見をお聞きし、5月25日（金）ということでよろしく願いします。本日はご参集をいただきありがとうございます。